

住友金属工業株式会社 2011 年度第 3 四半期決算説明会  
(2012 年 2 月 2 日開催) 質疑応答の概要

説明会出席者	取締役専務執行役員 経理部長 広報・IR部長 IRグループ長	瀧井 道治 加藤 聖二 増田 信昭 星 正人
--------	---	---------------------------------

(業績動向に関して)

- Q 1) 国内紐付価格の値下がり影響に関して、高炉他社は、第 4 四半期に第 3 四半期分も含めて織込んでいるようだが、貴社はどのように織込んでいるか？
- A 1) 当社は、価格交渉が未決着のものも含めて、第 3 四半期分については、第 3 四半期決算実績に、第 4 四半期分は、第 4 四半期決算見通しにそれぞれ織込んでおります。
- Q 2) 第 4 四半期営業利益見通しから、キャリーオーバー等の一過性要因を除いた実質営業利益は 200 億円程度の黒字と推測するが、高炉他社の実質営業利益見通しが、価格の織込み方法の差異を含めて考えても、収支トントンか、ともすれば赤字の可能性もある状況の中で、住金が相対的に他社よりも収益を上げている背景は、どのような点であると分析するか？
- A 2) 他社の事は良く判りかねますが、かねてより当社は、ダウンサイドリスクに強い事業体質を目指して、エネルギーや自動車分野向けを増加させる等の差別化を加速させる施策を進めており、市況品の構成比率を下げてきました。またシームレスパイプや鉄道車両品関係の収益も寄与していると考えています。また製造現場も良く頑張ってください。
- なお、第 4 四半期の一過性要因を除いた実力損益としては経常利益で 250 億円程度と考えています。

(VSB の見通しに関して)

- Q 3) 当期の VSB の販売数量見通しは？また来期の見通しは？
- A 3) 当期は 3 万トン程度です。来期は年度通算で 50%程度の稼働率を想定しています。

(シームレスパイプに関して)

- Q 4) シームレスパイプの販売単価の動向は？受注は、どの位先の時期まで入っているか？
- A 4) 販売単価は高い水準で安定しています。受注残は通常通り 6 カ月程度です。

(SUMCO に関して)

**Q 5) SUMCO の優先株引受要請に対する方針は？**

A 5) 当社は、SUMCO の“事業再生計画”を十分達成可能な施策と考えており、この実行が、当社の株主価値の向上につながるとの判断から、3月上旬の優先株式発行条件の決定時まで内容を精査して、引き受けを前向きに検討していきます。

**Q 6) 新日本製鉄との経営統合後の SUMCO の位置付けは？**

A 6) 関係会社としての同社の今後の方向性に関しては、コアである鉄鋼事業とは異なる事業のため、将来的には経営資源を集中するビジネスではないという認識で、当社と新日鉄は見解を共にしております。

以 上